

科目区分	統合分野	科目名	看護研究演習	対象学生	第3学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	吉川 明美(臨床経験11年、教育経験21年)				
授業目標	看護学実習をとおして、問題意識を明確化し、科学的アプローチの方法により、実際の看護の実践プロセスを研究論文にまとめることができる。				
<b>授業概要</b>					
第1～2回	看護実践と事例研究 事例研究の進め方 1) 問題意識のテーマへの発展、テーマの絞り込み 2) 研究計画書作成の過程、研究動機と目的の明確化 文献検索・文献検討及び文献クリティーク、文献の整理				
第3～12回	事例研究の実際・研究計画書に沿った論文作成 1) 看護研究における倫理 データの取り扱いと管理 2) 論文に必要な要素とその内容 3) 集録原稿作成 4) 抄録原稿作成 5) スライド作成 発表準備 6) 発表の実際(発表会役割実施、自己評価・他者評価)				
第13～15回	口頭発表と評価、まとめ				
<b>授業の進め方</b>					
領域別実習において受け持ち患者に実施した看護を振り返る。事実と理論を照らし合わせて文献検討をふまえ、論文作成の基本そって研究論文をまとめる。3年次4月に「ケース選択届け」を提出し、以降、研究計画書に沿って提出期限を厳守しながら主体的に研究活動に取り組む。					
<b>履修のポイント・留意事項</b>					
2年次に学習した看護研究の知識や文献検索、論文のまとめ方をいかし各自で研究に取り組む。研究計画書を作成し、担当教員より指導を受けながら看護研究を実践する。 集録・抄録作成要領に沿って、自分の取り組んだ研究について正しく論述できる。 ケーススタディ発表会をとおして、各自の看護の学びの体験を共有し、自己の看護観について深める。 専門職業人として看護の質の向上を目指すとともに、研究的態度や客観的思考を養う。					
<b>テキスト</b>					
松本 孚 編:看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社					
<b>評価方法</b>					
様式4 ケーススタディ評価表(100%)で評価する。 論文(集録)作成、研究発表、看護研究への取り組みと指導における研究的態度、論文提出状況					